

「家庭画報」と香川の伝統工芸がコラボ！ 同誌12月号で特集記事を掲載

香川県と一般財団法人かがわ県産品振興機構は、株式会社世界文化社（本社：東京都千代田区）が発行するライフスタイル誌「家庭画報」とタイアップし、**令和7年10月31日発売の「家庭画報12月号」に特集記事を掲載**します。

今回特別に制作した「吉祥来福アイテム」は、同誌の公式通販サイト「**家庭画報ショッピングサロン**」で**限定販売**します。



※画像提供：株式会社世界文化社

掲載商品

（1）吉祥・香手まりと飾り台

制作 手まり：讃岐かがり手まり保存会
飾り台：SEN-STUDIO

価格 70,000円（税込・送料込）

※限定10セット（ピンク）、同5セット（ブルー）



草木で染めたナチュラルな色調や、デザイン性に富んだ緻密な幾何学文様の美しい讃岐かがり手まり。大きな手まり2つには来福や健康への祈りを込めて花車文様と、七宝文様の上に麻の葉文様を重ねた文様がかがっており、どの手まりにも天然の香りを忍ばせてあります。さらにインテリアとして優美なフォルムの飾り台を用意。身近に置いて、時には手のひらにのせて、繊細な手仕事の美しさに浸る幸せな時間を過ごしてみませんか。飾り台は上下を逆にしても使用でき、菓子皿やアクセサリ台にも転用できます。

【裏面に続きます】

（２）十二支の高松張子と仕舞い箱

制作 張子：張子工房ウスイ
桐箱：道久桐箱店

価格 70,000円（税込・送料込）

※限定5セット



江戸時代、松平頼重公が初代藩主として高松藩に入る際、その技法が伝えられたとされる「高松張子」は、古くからお守りや縁起ものとして親しまれてきました。なかでも表情の愛らしさから人気なのが、香川県伝統工芸士として活躍する臼井 融氏の作品です。12個の干支飾りをコンパクトにしまえて、飾って絵になる桐箱を誂えました。健やかな成長への願いを込めた、お孫さんへの贈り物にも最適です。

販売先

家庭画報
ショッピングサロン

<https://shop.sekaibunka.com/>



世界文化社の雑誌「家庭画報」から生まれた通販「家庭画報ショッピングサロン」。全国各地の旬の美味や、華やかな季節の装い、洗練されたインテリアなど、目利きバイヤー陣が厳選したアイテムを、カタログとWEBサイトでお届けしています。お客様の声をもとに一から企画開発した「家庭画報オリジナル」や、家庭画報ショッピングサロンだけで販売している「家庭画報限定品」など、家庭画報ならではの商品も多数取り扱っています。

（参考）「家庭画報」について



<https://www.kateigaho.com/>



毎月1日発売。1958年2月の創刊以来「夢と美を楽しむ」をテーマに、時を経ても色褪せない「本物」を追求し、日本の四季、伝統文化、食、おもてなしの心などを美しい写真とともにお届けしています。「家庭画報の旅」をはじめ、家庭画報ショッピングサロン（通販）、イベント事業等も展開しています。